

大阪市立堀江小学校 西学舎

建築場所 大阪市西区北堀江4-9

建物概要 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階 約9,239m²

工事概要 新築工事

竣工年月 2025年2月

事業者 大阪市

設計者 株式会社綜企画設計

施工者 建築：栗本・中道特定建設工事共同企業体

電気：サンワコムシスエンジニアリング株式会社

機械：大晃設備株式会社

昇降機：フジテック株式会社

監理者 建築：株式会社真鍋建築事務所

設備：株式会社日本設備総合研究所

(環境配慮)

B+ランク(CASBEE大阪みらい)

(木材活用)

木材使用量 59.3m³(内国産木材使用量 50.4m³)

外観



外観



3階 階段室



3階 手洗いカウンター



5階 プール



屋上グラウンド



本施設は、大阪市内中心部での児童の増加に対応するため、堀江小学校の分校として整備を行ったものです。

敷地の北側から校舎棟、体育館棟、グラウンドを配置し、体育館棟の1階南側の一部をピロティとすることで、グラウンドとの一体的な利用を可能にしています。加えて、普通教室や特別教室などにより構成する7階建ての校舎棟の屋上をグラウンドとし、体育館棟の屋上をプールとすることで、都心の狭小な敷地の学校にあっても子どもたちが活発に活動できる空間を最大限確保しています。

外観は、周辺に立地する市立中央図書館の石張仕上げを踏襲した石調吹付仕上げとし、重厚感のあるデザインとするとともに、隣接する中学校と調和を図る色調とするなど、周囲の景観に配慮しています。

平面計画は、将来の学級数変更にも柔軟に対応できるよう普通教室への転用を見越したフレキシブルな設計としています。また、同学年の学び合いを深めるため、教室間の中廊下の幅を広く取り交流の場を設けるとともに、上下階の異学年交流の機会を増やすため、校舎中央部の階段はクロス階段としています。そのほか、感染症対策として、ホール各階に開放型の手洗いカウンターを設け、形状を円型にすることで子どもたちの交流を促しています。

(大阪市HP 公共建築年報から引用)

大阪市HP 令和6年度完成物件 <https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000655274.html#3>

大阪市HP 公共建築年報 <https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000655285.html>